

普及活動情勢報告（令和7年5月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

品質確保・安定出荷を図りましょう ～JA土佐くろしおキュウリ部会目慣らし会～



病害虫防除対策について説明する普及指導員

4月16、25日、須崎市浦ノ内、中土佐町久礼および須崎市大間の出荷場で、JA土佐くろしおキュウリ部会が、目慣らし会を開催し、生産者27人が参加しました。

農業改良普及課は、JA営農指導員とともに病害虫の防除対策を徹底するように周知しました。

参加者からは「退緑黄化病はどんな症状か」といった質問や、「今年度はハウス内でよく見る」といった意見がありました。

農業改良普及課は、今後も病害虫の防除対策や環境データの活用方法を提案し、キュウリの品質確保・安定出荷を支援していきます。

安定した収量を目指して ～JA高知県津野山なす部会現地検討会～



現地ほ場を見学する生産者

4月23日、JA高知県津野山なす部会の令和7年度現地検討会が開催され、生産者8人が参加しました。

農業改良普及課は、初期の栽培管理や農薬使用にあたっての注意事項、IOPクラウドSAWACHIの米ナス産地共有グループの活用について説明を行いました。

生産者からは「秋に黒枯病が出ないようにするには、どのような対策が必要か」、「暑さ対策について有用な手段はあるか」といった質問が出るなど、活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後も個別巡回等を通して、栽培管理の向上に向けた技術指導と関連事業について情報提供を行っていきます。

関連事業等について情報提供しました ～JA津野山園芸部総会～



JA津野山園芸部総会での情報提供

5月1日、JA高知県津野山経済課においてJA津野山園芸部総会が開催され、総会議事に続き、参加の生産者24人に対して農業振興センターから各種の情報提供を行いました。

総務企画課及び農業改良普及課は、関連事業の紹介、農薬の適正使用、家族経営協定の推進、農業就労環境整備事業の紹介、熱中症対策の呼びかけを行いました。

生産者からは、いずれの項目にも関心が寄せられ、質問や意見が交わされました。

農業改良普及課は、引き続き、普及活動を通じて生産者の関心を高める話題提供と関連する指導を行っていきます。

農福連携の取り組み拡大を目指して ～須崎市でミョウガのパック詰め体験会～



ミョウガのパック詰めを体験する参加者

5月14日、須崎市の多機能型事務所 STEP ONE で須崎市農福連携分科会が、ミョウガのパック詰め作業体験会を開催し、STEP ONE の利用者3人と福祉事業所職員、関係機関18人が参加しました。

農業改良普及課は、体験会に向けたミョウガ農家との打ち合わせと会当日の開催支援を行いました。

参加者からは、ミョウガの収穫時期や請け負う場合の賃金設定などの質問がありました。また2つの事業所からは、「条件次第ではミョウガのパック詰め作業を請け負える」という意見をいただきました。

農業改良普及課は、体験会の結果を関係機関や農家と共有し、農家と事業所のマッチングを目指していきます。

地域の農業を知ろう ～梶原高校で茶の出前授業を開催～



茶生産農家の説明を熱心に聞く生徒

5月16日、高知県立梶原高等学校の農業コース2年生を対象に、津野町内の茶工場で茶に関する出前授業を開催し、生徒20人が参加しました。

出前授業は津野山地域営農連絡協議会と茶生産農家が連携して開催したもので、農業改良普及課は開催に向けた企画立案を行いました。また、当日は農家から生産や加工に関する説明を、農業改良普及課からは前回の出前授業で出された質問についての回答を行いました。

生徒からは、「お茶の良い匂いがする」といった感想や「各機械の役割」について質問がありました。

農業改良普及課は、今後も農業コースの2年生を対象に、地域の栽培品目や新規就農、農業関係の進学に関する出前授業を開催します。

J A土佐くろしお雨よけシシトウ新品种導入に向けて ～高育交シシ17号の検討～



J A職員とともに生育調査をする普及指導員

農業改良普及課は、須崎市および中土佐町の雨よけシシトウ3ほ場で、「高育交シシ17号」と「L3葵」、「NP401」、「高育交シシ16号」の品種比較試験を実施しています。

「高育交シシ17号」は初期の石実が少なく花付きが良く、高温にも強い系統とされており、高温対策としても期待されています。

3月19日の定植から2ヶ月経過後、生産者からは、「節間が長く収穫はしやすいが、果実の生育が早く収穫のタイミングが難しい」という声が聞かれました。

農業改良普及課は、引き続き調査を行い、生産者やJ Aと協力して雨よけシシトウの生産振興に取り組みます。